ミーティングリポート

12月に開催しました懇親会と、1 月に開催しましたスポーツネットミーティング2017の様子をお伝えします。

～懇親会～

2016年12月に懇親会を開催しました。1年を通してスポーツネットミーティングに参加して頂いた方々やお世話になっている関係者の方々にご参加して頂きました。食事を食べながら交流を深め、お互いの活動についての情報を交換する場となりました。

医療スタッフのドクターや理学療法士、現場スタッフの指導者やトレーナーが一同に集まり情報を共有する場があるということは非常に貴重であり、プレーヤーズファーストの環境づくりには必要なシステムです。怪我をした選手にとって何が必要かによって対応が変わってきますが、選手を取り巻く環境が整い正しく対応していくことができれば、選手や保護者が望む早い段階での復帰に向けて進めていくことができます。京都では高校野球連盟やバスケットボールの大会におけるメディカルサポートという形で、ドクター、理学療法士、トレーナーが大会期間中の選手のサポートをする体制ができています。特にバスケットボールでの活動は、京都から発信したものがインターハイなどの全国大会でもサポート体制が取られるようになっています。京都からの発信でスポーツ界をリードしていけるようなコミュニティーを作っていきたいと思います。

～スポーツネットミーティング2017～

2017年1月8日（日）と9日（月・祝）の2日間でスポーツネットミーティング2017を開催しました。8日と9日午前で医科学の部、9日午後でスポーツの部という2部制にして様々な講演者の方々にお話しをして頂きました。

【医科学の部】

中務正幸氏（株式会社 NDS NeeDs 代表　アスレティックトレーナー）、田中洋氏（信原病院バイオメカニクス研究所）、東伸介氏（立命館大学ヘッドアスレティックトレーナー）、湯浅康弘氏（立命館大学ヘッドストレングス&コンディショニングコーチ）、原邦夫氏（京都鞍馬口医療センター・スポーツ整形外科センター長）、佐藤晃一氏（日本バスケットボール協会）にお話しをして頂きました。今回田中洋氏の講演では、モーションキャプチャーの測定器具を会場に設置し、実際にどのようにして動作を撮影して、解析するのかを実演して頂きました。普段はあまり目にする機会も少ないので、初めて目にする参加者の方々もいたのではないでしょうか。

【スポーツの部】

吉田昌平氏（がくさい病院理学療法士）、渡辺英児氏（全日本女子バレーボールチームメンタルトレーナー）にお話しをして頂きました。吉田昌平氏の講演では、実際に高校生にステージにあがってもらい、実演をしながらどのような見方をしてどういうアプローチをするのかを話しして頂きました。トレーニングメニュー後の身体の変化を選手も感じてもらいました。渡辺英児氏はパフォーマンスを発揮する為にどのように考え、どのように行動するのかをお話ししてもらいました。話を聞きながらうなずいたりメモを取ったりしている高校生が多かったです。自分がプレーしていると置き換えて話を聞いていたのでしょう。

パネルディスカッションでは、佐藤晃一氏、リオオリンピックにトレーナーとして帯同された伊藤由美子氏（全日本女子バスケットボールチーム）と宮口佳子氏（全日本女子バレーボールチーム）に加え、トップアスリートとして活躍されている福士加代子選手（リオオリンピック女子マラソン日本代表）と大家友和氏（MLB ボルチモア・オリオールズ）にそれぞれの視点からスポーツについてお話しをして頂きました。トップレベルで活躍される方々の話に会場中が聞き入り、経験されているからこそ語ることができるお話しを聞くことができました。

たくさんのご参加ありがとうございました！

＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜

次 回 の 開 催 予 定

次回の開催予定は、下記の通りです。個人的に質問のある方は少し早めにいらして下さい。この機会に是非ご参加下さい。

平成29年3月6日 「現場でのトレーニングの実際」